



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

<http://kyoukita.jp/nonoyama/> mail@ken-nonoyama.com

No.466 2018.3.14

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に 090-2156-3510

原発ゼロの日本を

3・11東日本大震災から7年「さよなら原発in飛鳥山」に300人



福島県浪江町から北区に避難している門馬昌子さんと新日本婦人の会北支部のみなさん

東日本大震災・福島原発事故から7年目の11日、王子駅前公園で「さよなら原発in飛鳥山」集会が開かれ、300人が参加しました。地震のあった午後2時46分に黙とう、集会後は王子五丁目団地までパレードしました。(のの山けん)



あいさつする池内さおり前衆院議員

集会では、ふくしま集団疎開裁判の柳原敏夫弁護士、原子力資料情報室共同代表の山口幸夫さん、東海第二原発差し止め訴訟原告の星野芳久さんの訴えに続き、サンバ・ナ・ファのウランさん(ヴォーカル)、稲葉さん(ギター)による演奏が会場を盛り上げました。

続いて、福島県浪江町から避難し、数年前に夫を失った門馬昌子さんが新婦人北支部のみなさんとともに登壇し、原発事故の実相を告発、再稼働に固執する安倍自公政権を厳しく批判しました。

立憲民主党、社民党、新社会党、日本共産党の区議会議員が超党派で集結し、北区在住の講師、神田香織さんからも激励のメッセージが寄せられました。最後に、集会アピールを採択しました。

北区市民発電いんかの鈴木みゆきさん、3月23日に海渡雄一弁護士を招いた講演会を予定している岩下好夫さんからの訴えの後、日本共産党の池内さおり前衆院議員が登壇。「力を合わせ、原発ゼロの日本をつくりましょう」と力強く訴えました。



登壇者の話に聞き入る集会参加者

暮らし応援の新年度予算に

児童館 再編

小学生対応、統廃 合方針の見直しを

2013年の「今後の児童館のあり方に関する基本方針」および、2014年の「子どもセンター及びティーンズセンター配置方針」に基づき再編が進められている児童館。小学生が排除され、25館を15～17センターへと統廃合する計画について、センターで遊びたい小学生を積極的に受け入れ、児童・生徒数が増加している実情にたち、今後の廃止計画については再検討することを求めました。

特定整備 路線

2020年度までの 完成は見通せず

区内で3つの認可取り消し住民裁判がたたかわれている特定整備路線（志茂86号線・赤西86号線・十条73号線）については、「10年間で事業化、用地買収、工事完了」という現実を無視した計画を批判。整備期限とされている2020年度までには到底完成が見込めないことから、国土交通省が奨励している「都市計画道路の見直し」方針にそって、計画中止を都に迫るよう求めました。

神谷小中 一貫校

保護者・学校関係 者・地域と連携を

現在の神谷中、神谷小、神谷公園などの敷地を使って北区初の施設一体型小中一貫校をつくる計画が進められています。サブファミリー内の稲田小が廃校となる事実上の学校統廃合であることから、保護者・学校関係者・地域住民の意見をしっかり聞き、相談しながら進めることが大事だと指摘しました。教育委員会は今後、3つの検討会を設置し、ワークショップも開催していくと答弁しました。

教員の 働き方

激務に追われる副 校長の負担軽減を

総括質疑に引き続き、教員の働き方改革について質疑。文科省の調査で、小・中学校ともに5割以上が「始業1時間前より早く」出勤し、「終業3時間より遅く」退勤している副校長の激務軽減を求めました。教育指導課長は「学校で対応しきれない時は教育委員会から統括指導主事などを派遣する」としましたが、一方で教育委でも人手不足による過重労働となっている実態が示されました。



学校正門



ふれあい館ホール



体育館



学童クラブ室

4月に開校する北区初の複合施設 なでしこ小が完成

地域施設（ふれあい館・地域振興室）との合築となる、なでしこ小学校の改築工事が終わり、10日に内覧会が開かれました。体育館は北区初の冷暖房完備、志茂東ふれあい館から移転するホール・和室とともに、学校の特別教室等も地域に開放されます。（のの山けん）